

第11回 関西クィア映画祭 2017

実施報告書

11th Kansai Queer Film Festival 2017
Official Report

【大阪会場】

2017年9月16日 (土) ドーンセンター (天満橋)

9月17日 (日) すてっぷ (豊中)

【京都会場】

10月27日 (金) 28日 (土) 29日 (日) 京都大学西部講堂

関西クィア映画祭 実行委員会

<http://kansai-qff.org/>

info@kansai-qff.org

080-3820-2731 (留守電)

はじめに

タイムリーな特集を3つ企画

ベルリン、パリ、そして米国でも、ポルノやセックスの映画祭が続けられています。今年はロンドンでもクィア系ポルノ映画祭が始まりました。そんな年に、関西クィア映画祭でセックスをテーマにした特集を組めたことは、タイムリーでした。

また、白人中心でトランスジェンダー差別のある米国LGBTコミュニティ内部での闘いをも描いた特集「私たちのストーンウォール」を、映画「ストーンウォール」日本公開にあわせて開催できました。さらに、私たちのコミュニティの中にもある民族差別や人種主義を問う特集「不可視化に抗う」は、今の日本で暮らし、また表現活動をする際には不可欠な取り組みでした。

今回も、時代状況に即して、関西クィア映画祭らしい問題提起をすることができました。

活動の幅が広がる1年半の活動

今回第11回の映画祭は、前回第10回の映画祭から1年半後の開催でした。時間的な余裕もあったため、兵庫県でも上映会を開催するなど地域的な広がりや、内部学習会を行うなど質的な幅の広がりがありました。また、夏にはキャンプをしたり学園祭でもミニ企画をしたり、ラミネート加工したパネルを外部の企画で展示出展したりするなど、様々な新しいことにも取り組みました。

単に大阪と京都で映画祭を開催するだけではなく、もっと様々な活動の可能性にも、今後も挑戦し続けたいと思います。

さらなるご支援をお願いします

今年は、大阪、京都の2会場ともに、台風の直撃を受けてしまいました。会場となった豊中のすてっぷホールのある建物では、ホール以外の飲食店が早々に店じまいし、また企画自体を中止する例もあるなかで、映画祭をやり切ることができました。ただそのため、集客の大幅な減少と、減収にも繋がりました。

幸い、多くの方がカンパを寄せて下さったため、赤字幅は去年以下に抑えることができました。とはいえ、単年度収支で10万円の赤字となる状態では映画祭の継続も困難であり、今後の課題となっています。

来年以降もクィアな映画祭を続けていくためには、多くの方のご支援が不可欠です。今後とも、今まで以上のご支援と協力を、どうぞよろしくお願いいたします



1：開催趣旨（第11回 関西クィア映画祭 2017）

性にあたりまえなんてないよ

あなたはどんな性別で暮らしていますか？

恋愛やセックスは好きですか？どんな恋愛やセックス、人との関わり方をしていますか？

「男らしさ」や「女らしさ」が期待されることに、しんどくなった経験はありませんか？

こういった「男女という制度」の枠組みから出て、自分らしい性を生きている人たちが、既に沢山います。典型的であってなくてもいい、変（＝クィア）でもいい、性のあり方は多様だ、私たちは生きていける。関西クィア映画祭は、そんなメッセージがあふれる映画を上映する「みんなのお祭り」です。

ところで「クィア」ってなんですか？

ひとりひとりが自分の性や生き方を選び決めていこう、規範の押し付けに反対しよう、というメッセージです。

「クィア/queer」は、性の領域で「ふつう」ではないと考えられている人々への蔑称として使われてきた英語でした。これを逆手にとって使うことで、様々な少数派を肯定し、「ヘンでもいい」「不一致は私たちの豊かさだ」と差異の権利を主張し、LGBTだけでなく「普通ではない」「典型的でない」生き方をポジティブに捉えなおす意図があります。

あきらめにサヨナラ よろこびにコンニチハ

いくらメディアで取り上げられるようになったといっても、昔よりはマシになったといっても、“当たり前”を押し付けられるワタシたちの日常はそれほど変わっていない。

「今日もワタシが思っていることをアナタに伝えられなかった…」 「今日もワタシが生きたい性を生きられなかった…」 「そもそもワタシの性って何なのだろう…」 いろんな思いが交差し、様々な“当たり前”を目の前にして、あきらめたくなる。

でも、あきらめなければ、きっと出会えるよろこびがある。自分の思いを誰かに伝えるよろこび、自分の生きたい性を生きるよろこび、人とつながるよろこび。「よろこびに出会いたい！」「あきらめたくない！」そう思えるような、「きっかけ」に、「後押し」に、この映画祭はなりたい。（にしき）

タイヘン×ヘンタイ

性別や恋愛のあり方、生き方は多様だ—私たちはそう思って集まります。しかし時間を重ねると、私たち自身も他者の性のあり方に無知だったり、時には受け入れ難いことがある、と気がつきます。「LGBT」を掲げていてもゲイ男性ばかりを取り上げることは、珍しくありません。男性中心主義やバイやトランスへの無関心など性に関わる差別だけでなく、性とは別の面での差別（日本人中心主義や植民地主義、健全者主義など）も、私たちの内部にもあります。「少数派の中の少数派」を作ってしまうことや、限られた資源の中で優先順位をつけること、身近な差別・抑圧への無関心は、多数派社会だけの問題ではありません。

シングルイシュー主義や単純化した分かりやすさには用心しよう！私たちの複雑さや自分の特権に向き合い、本当に多様性を手に入れるのは、とても「タイヘン」なのです。

また最近「LGBT」の用語が流行りですが、私たちは、レズビアン、ゲイ、バイセクシュアル、トランスジェンダー、異性愛といった簡単な言葉では表しきれない存在です。恋愛対象の性別や自身の性別が、個人の人生の中で「変わる/変態する」ことだってあります。

さらに、大企業や行政の顔色をうかがい、社会の多数派に「受け入れてもらう」ためにお行儀よくすることと引換に、現にある「私たちの豊かさ」を手放すのはゴメンです。「ヘンタイだってフツーの人だ」と言うだけではなく、「あなたももっとヘンタイになれる」とも言いたい。

【タイヘン×ヘンタイ】のキャッチコピー、「私たちはひとりひとり違っている、という現実に向きあうんだ！」という心意気を表現するには、ピッタリの言葉だと思いませんか？

2：実施概要・組織運営

企画名	第11回 関西クィア映画祭 2017
会期と会場	<p>【大阪会場】 9月16日（土）ドーンセンター（大阪府男女共同参画・青少年センター） 9月17日（日）すてっぷ（とよなか男女共同参画推進センター）</p> <p>【京都会場】 10月27日（金）28日（土）29日（日）京都大学西部講堂</p>
主 催	<p>関西クィア映画祭 実行委員会 （代表係 ひびのまこと 実行委員長係 にしき）</p> <p>実行委員*/スタッフ/協力 あい*/あやこ/かりん/kiki/岸茉利/きむうぢゃ/コマツ/斬/しっしー/ じゅんぺい/しーらかんす/とも/ともかちゃん*/にしき*/仁科芙妃/は しも/ひびのまこと*/マイ/Maki Suehara*/マッチー/まりも*/丸野毅 */丹生みほし/メイ*/ゆ/よりー/蘇 雅如（Gj-Lancelot） かぶ（パンフレットデザイン） もじ（パンフレット表紙デザイン）</p>
協賛 (すてっぷ会場)	<p>とよなか男女共同参画推進センターすてっぷ （指定管理者 一般財団法人とよなか男女共同参画推進財団）</p>
協 力	<p>大阪アジア映画祭・SWASH（Sex Work and Sexual Health） 西部講堂連絡協議会・クィア食堂</p>
後 援	<p>在日アルゼンチン共和国大使館 ドイツ文化センター 台北駐日経済文化代表処 台湾文化センター オーストラリア大使館 スペイン大使館 Embajada de España</p>
チケット 委託販売 ・ 広 告	<p>京都ルミエール&コンボイ京都店（チケット委託販売・広告・物 販）Waa Gwaan（チケット委託販売・広告） コンドマニア神戸三宮店（チケット委託販売・広告） 国際交流の会とよなか（TIFA）（チケット委託販売） レズっ娘クラブ（広告）・こう行政書士事務所（広告） クィア食堂（広告）・レインボーフェスタ！（広告） Girrls∞Luv!（広告）・Laph（広告）・SWASH（広告）</p>

3：上映作品・特集・ゲスト

<p>上映作品</p>	<p>3つの特集を組み、全体で長編12作品、短編15作品、計27作品を上映。うち23作品が日本初公開作品。</p> <p>【製作国・地域】全17の国・地域からの作品。 アルゼンチン・インド・英国・オーストラリア・カナダ・韓国 スペイン・台湾・チリ・ドイツ・日本・ブラジル・フランス・米国 ベトナム・香港・マカオ</p>
<p>特集</p>	<p>●セックス！セックス！セックス！特集 ～奪われたセックスを取り戻す 2017年・秋～ いろんな感じ方、覗いていきませんか？ 『レンズ越しのあなたに』『Yes, We Fuck!』『36歳、童貞。』『ニューロセックス3』の4作品を上映。また、キュレータートークを2回実施。岸茉莉が責任者として担当。</p> <p>●ミニ特集(1) 私たちのストーンウォール 『メジャーさん!』『マーシャの生と死に正義を』の2作品を上映。</p> <p>●ミニ特集(2) 不可視化に抗う 『この声で拓く道』『鬼郷』『いのちの森 高江』の3作品を上映。 アフタートークも1回実施。</p>
<p>ゲスト</p>	<p>【大阪会場】</p> <p>●『スカーレットロード』の上映後に、映画の主人公レイチェルさんをスカイプで招いて、SWASHメンバーとのトークを開催しました。</p> <p>【京都会場】</p> <p>●10/28(土)『だいじょうぶ(報平安/I'm Fine)』のLucretia Knapp監督とLynne Yamamoto監督に、上映後のゲストトーク・Q&Aにご登壇いただきました。(FTMスペシャル)</p> <p>●10/28(土)『マイ・シェアメイト』の田中麻子監督に、上映後のゲストトーク・Q&Aにご登壇いただきました。(オールナイト)</p> <p>●10/28(土)「セックス!セックス!セックス!特集」でプログラムを担当した岸茉莉さんによるキュレータートークを開催しました(セックス特集とオールナイトの2回開催)</p> <p>●10/29(日)『いのちの森 高江』の上映後に、屋嘉比優子さんによるミニトークを開催しました。</p>

<p>付随企画</p>	<p>【大阪・京都の両会場】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●「性別指定のないトイレ」を設置。（すてっぷ・京都） ●各団体等のチラシ等を配架。 ●今年の上映作品等を紹介するパネルをラミネート加工で作成し、展示。 ●待ち時間に無料で性に関する書籍や漫画を読めるスペース「はしも図書館」を設置。（すてっぷ・京都） ●京都ルミエール&コンボイ京都店の提供による物販ブースを設置。（ドーンセンター・京都） ●上映中でもスマホや携帯の閲覧ができる場所として「スマホ席」を、客席の最後尾に設置。（すてっぷ・京都） <p>【京都会場】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●クィア食堂さんのブース。ポップコーンの無料配布など。 ●映画祭記念バッチを作成し販売。 ●幕間の時間に、BGMとしてのピアノの生演奏を実施。 ●防寒対策として、客席にホットカーペットを敷設。 ●コーヒーやマッサージサービスを提供する空間として、有志がティピを会場前に設置。
<p>情報保障</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●情報保障を目的として、日本語作品を含む全作品に、日本語字幕を作成して上映しました。 ●本祭における壇上での発言については、口頭での発言に加えて、手話通訳もしくはパソコンテイクを実施しました。 ●本祭期間中は、スタッフが筆談用のペンとメモを携帯しました。



4：観客数

	日付	枠名	人数	合計		総合計
大阪会場	9/16 (土)	姉妹関係	71	213	301	
		スカーレットロード	117			
		[セックス特集] レンズ越しのあなたに	25			
	9/17 (日)	[ミニ特集1] メジャーさん！	35	88		
		サラ/Rara	23			
		[セックス特集] 36歳、童貞。・Yes, We Fuck!	30			
京都会場	5/20 (金)	サウナの夜に	11	59	361	662
		[ミニ特集1] メジャーさん！	14			
		サラ/Rara	21			
		[ミニ特集1] マーシャの生と死に正義を	13			
	5/21 (土)	[ミニ特集2] 鬼郷	25	213		
		姉妹関係	39			
		[FTMスペシャル] 中短編4作品	54			
		[セックス特集] ニューロセックス3・Yes, We Fuck!	35			
		[オールナイト] 5作品	60			
	5/22 (日)	[ミニ特集2] いのちの森 高江	10	89		
		[好き好き短編集] 短編8作品	32			
		[ミニ特集2] この声で拓く道	26			
イネスにまつわるエトセトラ		21				

5：会計報告（2017年11月19日現在）

	項目	金額
収入	チケット売上	838,757
	広告収入（未収金を含む）	100,000
	助成金	0
	カンパ（スタッフからのカンパを除く）	311,291
	ミニ企画収入	11,710
	その他収入	32,649
	収入合計	1,294,407
支出	映画上映料・ゲスト費用	529,956
	上映関連費用(機材費・字幕代・会場費など)	309,983
	広報費用(パンフ印刷費など)	431,079
	送料(パンフ送料・国際送料など)	129,107
	一般管理・運営費	122,729
	その他	182,446
	支出合計	1,705,300
映画祭 収支		-410,893
	スタッフからのカンパ	200,033
	字幕貸出料	10,860
単年度 全体収支		-200,000



6：広報活動

●公式パンフレット

初刷 3万部、増刷1万8千部で合計4万8千部。

両面フルカラー。コート63kg。

B3サイズをMAP折り（外四つ折クロス二つ折）

デザイン：かぶ 表紙イラスト：もじ

【主な配布場所】

ドーンセンター、すてっぷ、映画館、書店、飲食店（喫茶店、ゲイバー、レディースバーを含む）、大学、NPO団体、女性センターなど公共施設、各種サークル、イベント会場（性に関わる講演会、クラブイベントなど）、芝居折り込み、など。

●本祭に向けての、公式パンフレット以外の広報媒体

- ・すてっぷなど公共施設配布用チラシ（A4サイズ）
- ・ポスター（A3サイズ・2種類作成）
- ・立て看板（4枚張り・手描き・百万遍交差点に設置）
- ・立て看板（1枚張り・0.914×1.4m・京大周辺3ヶ所に設置）
- ・パネル（ラミネート加工）を東大路沿いに掲示（京都会場）

●インターネット

ウェブサイト (<http://kansai-qff.org/>)

Twitter (kqff_official) Facebook (KansaiQFF)

インスタグラム (kqff_official)

ブログ (http://blog.livedoor.jp/kansai_qff)

映画祭ニュース (<http://www.freeml.com/kqffnews>)

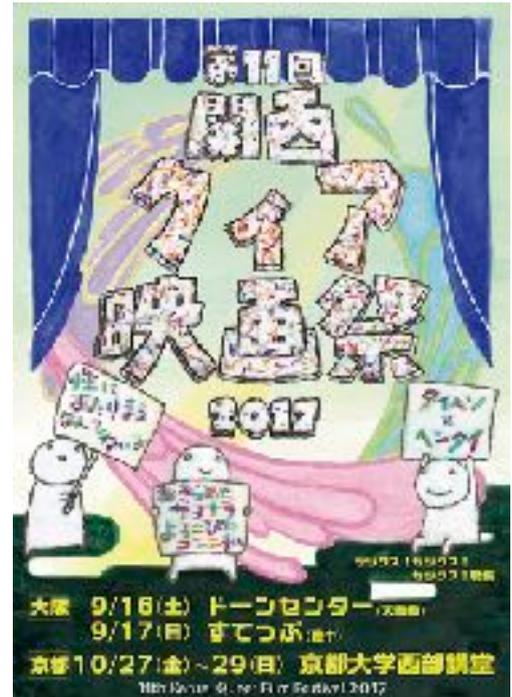
Girrls∞Luv!、GENXY、DIVERSITY STUDIES ほか、多数のウェブメディアにも掲載頂きました。

●取材、記事掲載（紙媒体）

- ・朝日新聞・京都新聞・京都大学新聞
- ・SCREEN・バディ・ザ淀川・秋ぴあ関西版などに、掲載を頂きました。

●ラジオ番組に出演しました

- ・FM OH! (FM OSAKA)
「LOVE+RED」10/21 (土) 28 (土) 11/4 (土)

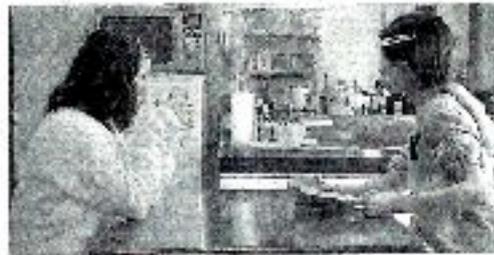


公式パンフレット

百万遍の立看板



朝日新聞
(8月24日)



映画「マイ・シェアメイト」から二
関西クィア映画祭実行委員会提供

多様な性テーマ 尊さを伝える映画

来月、大阪と豊中で

様々な性のあり方を描いた作品を上映する「関西クィア映画祭」が9月から開

かれる。今年で11回目。17の国・地域で制作された27作品を集めた。男女の枠を超え、自分らしい性を謳歌する尊さを伝えている。

日本初上映の「メジャーさん〜」（2013年、米国）は、有色人種のトランスジェンダー（生まれたときと違う性別で生きたい人）に対する差別と40年にわたり闘った黒人活動家のドキュメンタリー。関西初上映の短編「マイ・シェアメイト」（17年、日本）は、ルームシェアをしている女性から「女性と付き合いたった」と告白された主人公が、戸惑いながら向き合う姿を描いている。

9月16日に大阪市中央区のドーンセンター、同17日に豊中市のとよなか男女共同参画推進センターすてっぷ、10月27〜29日に京都市左京区の京都大西部講堂で。問い合わせは実行委員会（メール：info@kansai-qi.org）。

(花岡晋子)

関西クィア映画祭

「クィア（Queer）＝変」を切り口に「性」をテーマにした映像作品を上映するイベント「第11回関西クィア映画祭2017」が9月16日、大阪・天満橋、ドーンセンター、9月17日、同・豊中、すてっぷ、10月27〜29日、京都・京都大学西部講堂の三会場で行われる。

上映作品に「姉妹関係」（マカオ＝香港）「サラ／SARA」（チリ＝アルゼンチン）「イネスにまつわるエトセトラ」（スペイン）など。他に「セックス！セックス！セックス！特集」と題して「36歳、童貞。」（カナダ）「Yes, We Fuck!」（スペイン）を上映。また二つのミニ特集も設け、17の国と地域から全27作が（ほぼ）日本初上映となる。



「サラ／SARA」

映画を通して多様な性のあり方を考える「関西クィア映画祭」
9月16日天満橋ドーンセンター、17日豊中すてっぷで開催

「クィア」とは、レスビアンやゲイ、トランスジェンダーなどの性的少数者に対する蔑称。この言葉を逆手に取り、「普通」やなくていい、性は多様だ」というメッセージを発信し続けているのが今年で11回目を迎える「関西クィア映画祭」です。



▲1999年のマカオを舞台にした、国境を越え、愛を分かち合おうとする、セリナから突然の別れを告げられて、2008年16日、18時30分～

の繋がりを題材にした「スカーレットロード」（16日16時）、米国LGBT運動の始まりといわれるストーンウオール暴動を闘った黒人トランス女性ミス・メジャーに迫った「メジャーさん〜」（17日13時30分）など、世界各地から集めた選りすぐりの作品を上映。10月27日〜29日にはプログラムを増やし、京都大学西部講堂でも開催されます。

15 The Yodojawa

関西クイア映画祭の2017

「当たり前」からの解放

映画評特集

サウナと目覚めと葛藤と

『サウナの夜に』

「サウナ」は、フィンランドの伝統的な入浴施設である。ここでは、人々の心と体を癒すだけでなく、社会的な規範や価値観を問い直す場としても機能している。『サウナの夜に』は、この「サウナ」を舞台にした、クイア映画祭の傑作である。監督の巧みな演出と、俳優の繊細な演技が、観客の心に残る。この映画は、クイア映画祭の歴史を振り返るだけでなく、現代社会におけるクイアの人々の生き生きとした姿を映し出す。サウナの夜に、心と体を癒すだけでなく、自分自身と向き合う時間がある。この映画は、クイア映画祭の歴史を振り返るだけでなく、現代社会におけるクイアの人々の生き生きとした姿を映し出す。サウナの夜に、心と体を癒すだけでなく、自分自身と向き合う時間がある。



原簿：サウナの夜
原簿：Spa Night
原簿：Arhvo Aho
原簿：2016

名前が無い関係の肯定

『姉妹関係』

「名前が無い関係」とは、社会から認知されていない関係性を指す。『姉妹関係』は、この「名前が無い関係」をテーマにした、クイア映画祭の傑作である。監督の巧みな演出と、俳優の繊細な演技が、観客の心に残る。この映画は、クイア映画祭の歴史を振り返るだけでなく、現代社会におけるクイアの人々の生き生きとした姿を映し出す。名前が無い関係の肯定、この映画は、クイア映画祭の歴史を振り返るだけでなく、現代社会におけるクイアの人々の生き生きとした姿を映し出す。



原簿：姉妹関係
原簿：Sisterhood
原簿：Arhvo Aho
原簿：2016

性からの幸福追求権

『Yes, We Fuck!』

「性からの幸福追求権」とは、個人の性的自由と幸福を追求する権利を指す。『Yes, We Fuck!』は、この「性からの幸福追求権」をテーマにした、クイア映画祭の傑作である。監督の巧みな演出と、俳優の繊細な演技が、観客の心に残る。この映画は、クイア映画祭の歴史を振り返るだけでなく、現代社会におけるクイアの人々の生き生きとした姿を映し出す。性からの幸福追求権、この映画は、クイア映画祭の歴史を振り返るだけでなく、現代社会におけるクイアの人々の生き生きとした姿を映し出す。



原簿：Yes, We Fuck!
原簿：Yes, We Fuck!
原簿：Arhvo Aho
原簿：2016

定義できない

人間の多様性

「定義できない」とは、社会から認知されていない人間性を指す。『人間の多様性』は、この「定義できない」人間性をテーマにした、クイア映画祭の傑作である。監督の巧みな演出と、俳優の繊細な演技が、観客の心に残る。この映画は、クイア映画祭の歴史を振り返るだけでなく、現代社会におけるクイアの人々の生き生きとした姿を映し出す。定義できない人間の多様性、この映画は、クイア映画祭の歴史を振り返るだけでなく、現代社会におけるクイアの人々の生き生きとした姿を映し出す。

7：通年の活動

【2016年】

- 6/11 (土) 反省会と総会 (プロジェクトQボックス)
6/18 (土) **第二弾「映画祭カフェ①」** (プロジェクトQボックス)
6/28 (火) 実行委員会のML開設。
7/17 (日) **レバノンのLGBTについてお話を聞く会** (個人宅・参加約10人)
8/13 (土) **沖縄・高江報告会** (個人宅・参加10人)
8/20 (土) 21 (日) **クィアキャンプ** (大森リゾートキャンプ場・参加9人)
9月～2017年5月 試写会、作品探し、作品選び
10/2 (日) **「性的マイノリティーのコミュニティや社会運動の内部にある差別～クィア映画から考える～」** (第6回AIDS文化フォーラムin京都・同志社大学)
10/8 (土) **レインボーフェスタ! 2016にブース出展** (扇町公園)
10月～11月 京大NF企画に向けてフライヤーを作成して配布
10/22 (土) **ミニ企画「わたしたちの性教育プログラムへの第一歩」**
(プロジェクトQボックス・参加12人)
11/19 (土) **【京大学園祭企画：その1】同性婚やLGBT運動をクィアな視点から問い直す**
(京都大学 文学部 新館 第3講義室・500円以上のカンパ)
11/20 (日) **【京大学園祭企画：その2】わたしたちの性教育をつくろう!**
(京都大学 文学部 新館 第2講義室・参加20人・500円以上のカンパ)
12月 兵庫上映会の運営チームが発足

【2017年】

- 2/18 (土) **内部勉強会「あいがるいろ喋るー自分が言いたいことは、自分で言うしかないー」** (京都大学 文学部 新館 第3講義室)
5/21 (日) **兵庫クィア上映会 (姫路)**
5/28 (日) **兵庫クィア上映会 (神戸)**
5月～6月 上映交渉
6月～7月 公式パンフレット作成
8/26 (土) **関西クィア映画祭をもっと楽しむためのプレ企画**
(東山いきいき市民活動センター・参加費300円)
9/10 (日) 当日スタッフ説明会 (第1回・ドーンセンター)
9/16 (土) **第11回関西クィア映画祭2017 大阪会場 本祭** (ドーンセンター)
9/17 (日) **第11回関西クィア映画祭2017 大阪会場 本祭** (すてっぷ)
9/30 (土) 当日スタッフ説明会 (第2回・西部講堂)
10/1 (日) **第7回AIDS文化フォーラムin京都に展示出展** (同志社大学)
10/7 (日) **レインボーフェスタ! 2017にブース出展** (扇町公園)
10/27 (金) 28 (土) 29 (日) **第11回関西クィア映画祭2017 京都会場 本祭**
11/3 (金) **第25回東九条マダンに展示出展** (もと山王小学校)
11/11 (土) 反省会および総会

8：資料 ことばの説明

▼異性愛/ノンケ/異性愛中心主義/ヘテヘテ

異性を性愛の対象にすることを「異性愛(ヘテロ)」、そういう人のことを「異性愛者」、その俗語が「ノンケ」。異性愛を自明視し無意識のうちに優遇する社会と個人のあり方を「異性愛中心主義」、これらに鈍感なことや人を「ヘテヘテ」。

▼トランスジェンダー

出生時に振り分けられた性別とは異なる性別で生きようとする人。
性同一性障害の人も含む幅広い言葉。

▼Xジェンダー

性別二元論の枠組みから外れる立場、あるいは両性、中性、無性などの名乗り方。
また、女/男のいずれかを選ばせられることに反対する考え方。
英語の「genderqueer」や「gender nonconformity」に近い。

▼トランス男性 / トランス女性

女性として扱われたり女性として暮らしたりした経験を持つ男性と、男性として扱われたり男性として暮らしたりした経験を持つ女性たちがいる。そういったひとたちはそれぞれ男性 / 女性である。性別の移行に焦点を当ててトランス男性 / トランス女性と呼ばれることもあるが、こう自称する場合、理由は様々でひとくくりにできない。

▼フェミニズム

今の社会には「男女という制度」や「女性差別という社会構造」があるという事実認識を前提にして、性別に基づく差別や抑圧に反対するという考え方。

